

RIKKEN
MINSHU
号外

2020年8月号

立憲民主編集部
〒102-0093
東京都千代田区平河町
2-12-4 ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302
goiken@cdp-japan.net
http://cdp-japan.jp/

立憲民主
The Constitutional Democratic Press

立憲民主党滋賀県連合

〒520-0051

大津市梅林1丁目4-15

滋賀県教育会館 3F

Tel: 077-527-1661

Fax: 077-527-1662

市民の力で命を守る社会を作る！



立憲民主党滋賀県連合は、新型コロナウイルスの感染拡大で自粛していた、国民民主党・社民党・日本共産党の各県連、そして市民の会の皆さんとの共同アピール活動を県内各地で再開しました。

7月1日に草津駅前で行ったアピール活動では、田島一成代表や江畑弥八郎幹事長をはじめ、各県連、市民の会の関係者が参加して、新型コロナウイルスによる

様々な影響や、政府の対策不備などを訴えました。また、18日にはOh!Me大津テラス前にて佐口佳恵副幹事長が、19日には長浜駅前にて田島代表が、それぞれ各政党の皆さんや、市民の会の皆さんとともにアピール活動を行いました。

これからも感染予防を行いながら、活動を進めてまいります。



災害復興へ、募金活動を実施中



立憲民主党滋賀県連合では「令和2年7月豪雨」で被害に遭われた皆様のために、県内各地で募金活動を実施しています。今回の豪雨被害は、非常に広い地域で長時間雨が降り続くという、想定をはるかに超えた災害となりました。また、コロナ禍の中での災害となり、被災者の皆様は非常に困難な状況にあります。皆様のご支援、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

THE ISSEI REPORT

前衆議院議員田島一成後援会ニュース

AUG 2020

〒 522-0038 滋賀県彦根市西沼波町 35-1

tel(0749)21-1003 fax(0749)21-1004

目指すは ”安心の社会、経済、政府”。

国内で新型コロナウイルスの感染者が最初に確認されてからすでに半年。事態は収束するどころか新規感染者が増え続け、国内感染者数はついに3万人を突破しました。出口も見えない中、政府は早々に緊急事態宣言を解除し、「GO TOキャンペーン」を前倒しで実施するなど、感染拡大防止のアクセルとブレーキを同時に踏むような行為で国民を混乱させています。冷え切った経済を立て直すことは重要な課題ですが、焦ってコトの順序を誤っていないでしょうか。本来なら通常国会会期を延長し、国民の疑問に答える

べき状況ですが、会期延長どころか早々に閉じて、週1回開催を約束された予算委員会も、新型コロナ担当大臣以外の閣僚は誰一人出席しないという無責任さに、怒りの声が高まっています。今求められるのはコロナ感染防止の万全な対策確立と、コロナ禍での経験と反省を踏まえ国民の共感を得るポストコロナ社会の構想確立だと考えます。場当たりの対応に追われ混乱を招いている安倍政権に代わって、安心の社会、経済、政府を作るため、これからも精進して参ります。

原点は現場。

集中豪雨の被災地へいざ出動！

7月19日朝6時、先の集中豪雨で甚大な被害を受けた被災地の一つ、岐阜県飛騨川の上流、下呂市萩原町。自宅が床上浸水に見舞われた知人のSOSに呼応して、友人らと災害ボランティアに出動し汗を流しました。

コロナ禍で公的機関はボランティア受け入れは県内のみ限定されていますが、被災地の復旧は県内ボランティアだけでは到底足りません。山から道路を流れる水は1週間たってもなお土砂混じりで、側溝と道を覆い尽くしています。重機を操縦し、流木をチェーンソーで切り、スコップで土砂や岩石



を集め、一輪車で運び出す一連の作業は、時折強く降る雨に阻まれ、びしょ濡れになりながらも人海戦術で乗り越えます。使用する機材も昼食も全て各人が持ち込む自己完結型ですが、活動の支援者からの漬物や菓子の差し入れもあり元気がみなぎりました。午後は太陽も覗いて作業が捗り、見違える側溝の流れと前栽を修復し、達成感に浸ることが出来ました。

災害に見舞われた被災地の皆さんが1日も早く普段通りの生活を取り戻せるよう、心からお祈りします。

